超精密とメカトロメーション®を追求する
Seibu

2027年3月期 第2四半期（中間期）
決算概要

西部電機株式会社
（東証スタンダード・福証　証券コード6144）

Seibu
Lead Tech Exploration.

2026年度 中間期決算・通期業績見通しのポイント



2026年度中間期決算・通期業績見通しのポイント

受注高・売上高・各利益とも過去最高、通期予想も上方修正

1 2026年度中間期の受注高は24,069百万円（前年同期比20.0%増）、売上高は20,075百万円（前年同期比19.8%増）といずれも全てのセグメントにおいて前年同期を上回り、過去最高

2 2026年度中間期の各利益は、価格適正化の進展に加え、生産効率化による供給力の向上、売上高増加による増益効果が寄与し、営業利益は2,099百万円（前年同期比53.3%増）、経常利益は2,163百万円（前年同期比54.0%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は1,454百万円（前年同期比4.3%増）といずれも過去最高

3 2026年度中間期の業績は、いずれも予想値を上回るペースで推移

2026年度通期の売上高は、42,860百万円（前期比9.2%増）、営業利益は、5,080百万円（前期比21.1%増）、経常利益は、5,170百万円（前期比20.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は、3,600百万円（前期比2.4%増）へ上方修正

通期業績も過去最高を更新見込み

4 2026年度の年間配当はDOE4.0%目安で 90円（配当性向38%）と予想

2026年度中間配当は45円を決議

Seibu
Lead Tech Exploration.

2026年度　中間期決算



中間連結業績

受注高・売上高・各利益とも過去最高、通期予想も上方修正

- **受注高**　全てのセグメントにおいて前年同期を上回り、過去最高
- **売上高**　全てのセグメントにおいて前年同期を上回り、過去最高
- **各利益**　価格適正化の進展に加え、生産効率化による供給力の向上、売上高増加による増益効果が寄与し、過去最高

(単位：百万円)

	2025年度中間期	2026年度中間期	前年同期比／差		公表値(2026年5月15日)	公表差
受注高	20,063	**24,069**	+20.0%	+4,005		
売上高	16,759	**20,075**	+19.8%	+3,316	18,650	+7.6%
売上総利益（率）	4,805 (28.7%)	**5,792 (28.9%)**	+20.5%	+986		
販売費及び一般管理費	3,436	**3,692**	+7.5%	+256		
営業利益（率）	1,369 (8.2%)	**2,099 (10.5%)**	+53.3%	+730	1,600 (8.6%)	+31.2%
経常利益（率）	1,404 (8.4%)	**2,163 (10.8%)**	+54.0%	+759	1,610 (8.6%)	+34.4%
親会社株主に帰属する中間純利益（率）	1,394 (8.3%)	**1,454 (7.2%)**	+4.3%	+60	1,020 (5.5%)	+42.6%
EPS	92.29 円	**96.75 円**	+4.8%	+4.46	67.87 円	+42.6%

中間連結業績　セグメント別

- **搬送機械事業**

  流通業界向けのピッキングシステムや工場の自動化・効率化に向けたトータルソリューションが好調に推移
  サービス・メンテナンス分野における提案営業の強化により受注も拡大

- **産業機械事業**

  上下水道向けアクチュエータや河川・ダム向けゲート駆動装置を中心に、公共インフラの更新需要や国土強靱化関連需要が高水準で推移
  民間需要向けにおいては、電力、鉄鋼、石油関連をはじめ、造船および護衛艦向け案件の営業活動を積極的に推進
  サービス・メンテナンス事業の強化による収益基盤の拡充

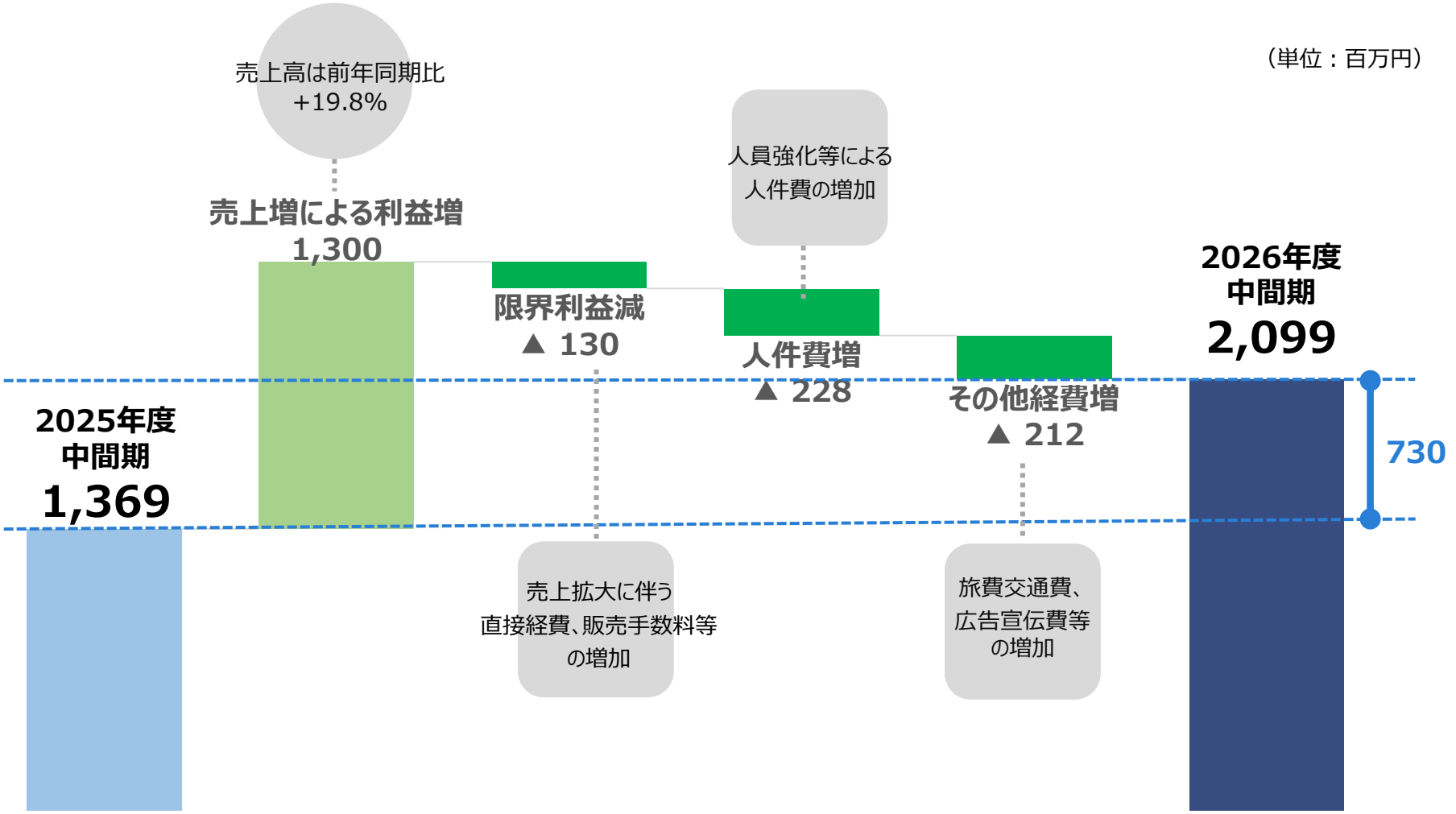
- **精密機械事業**

  中華圏において、AI・データセンター、半導体関連市場の旺盛な需要を背景に、ワイヤ放電加工機の受注・販売が高水準で推移
  米国やASEANをはじめとする各地域において、精密加工分野における設備投資需要を着実に取り込む
  欧州市場では代理店網の整備が進展したことから、新たな販売チャネルの開拓と営業活動の強化に取り組む

(単位：百万円)

	受注高	前年同期比	売上高	前年同期比	営業利益	前年同期比
搬送機械事業	**8,870**	+29.2%	**6,838**	+24.9%	**689**	+61.1%
産業機械事業	**4,319**	+11.9%	**2,702**	+13.6%	**212**	+271.7%
精密機械事業	**10,564**	+16.4%	**10,210**	+18.1%	**1,041**	+13.0%
その他/消去・調整	**315**	+17.6%	**324**	+26.9%	**155**	—
連結決算	**24,069**	+20.0%	**20,075**	+19.8%	**2,099**	+53.3%

増収効果が人件費やその他経費の増加、限界利益の減少を吸収し、営業利益は前年同期比7億3千万円増加



貸借対照表

(単位：百万円)

	2025年度末	**2026年度中間期末**	前年度末比
現金及び預金	10,100	**10,469**	+368
売掛債権・電子記録債権	10,450	**9,243**	△ 1,206
棚卸在庫	4,914	**5,487**	+572
有形固定資産	14,851	**14,561**	△ 290
投資有価証券	6,117	**7,681**	+1,564
その他資産	3,288	**3,236**	△ 52
資産　計	49,723	**50,679**	+956
支払債務・電子記録債務	6,043	**5,674**	△ 368
借入金	416	**416**	+0
その他負債	9,551	**8,970**	△ 580
負債　計	16,011	**15,061**	△ 949
純資産	33,711	**35,618**	+1,906
自己資本比率	67.8%	**70.3%**	+2.5P
ネットキャッシュ	9,684	**10,052**	+368

キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

	2025年度中間期	**2026年度中間期**	前年同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,987	**1,252**	△ 1,735
投資活動によるキャッシュ・フロー	466	**△ 159**	△ 625
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 654	**△ 653**	+0
フリーキャッシュ・フロー	3,454	**1,092**	△ 2,361

- ✓ 2026年度中間期の営業活動によるキャッシュ・フローは、売上高の増加等に伴い売上債権の減少額が前年同期に比べて縮小したことや、仕入債務が減少したことなどにより一時的に運転資金が増加し、前年同期比で減少
- ✓ 2026年度中間期の投資活動によるキャッシュ・フローは、前中間期に政策保有株式の売却等による収入があった反動により、前年同期比で減少

Seibu
Lead Tech Exploration.

2026年度　通期業績見通し



通期連結業績見通し

好調な需要環境を背景に、売上高、各利益とも過去最高を見込む

- ✓ 中間期の業績は、旺盛な自動化・省人化需要や半導体関連の設備投資、国土強靱化・社会インフラ更新需要などを背景に、期首予想を上回るペースで進捗しており、海外においても、中国のAI・データセンター関連やASEAN地域の設備投資需要が引き続き堅調に推移
- ✓ 成長市場の需要を着実に取り込むとともに、ソリューション提案やサービス・メンテナンスの強化を進め、売上高、各損益ともに過去最高の更新を見込む
- ✓ 原材料・エネルギー価格、海外景気、地政学的リスク等については、引き続き動向を注視

(単位：百万円)

	2026年度 見通し		2025年度 実績		前期比／差	
売上高	**42,860**		39,265		+9.2%	+3,594
営業利益（率）	**5,080**	**(11.9%)**	4,195	(10.7%)	+21.1%	+884
経常利益（率）	**5,170**	**(12.1%)**	4,292	(10.9%)	+20.4%	+877
親会社株主に帰属する当期純利益（率）	**3,600**	**(8.4%)**	3,516	(9.0%)	+2.4%	+83
EPS	**239.44円**		233.12円		－	+6.32円

通期連結業績見通し　セグメント別

- **搬送機械事業**

  人手不足を背景に、物流・製造現場における自動化・省人化ニーズは引き続き高い水準で推移。物流効率化や生産性向上に向けた設備投資需要は、下期も堅調に推移する見通し

- **産業機械事業**

  国土強靭化や老朽化した社会インフラの更新需要やエネルギー・環境分野における公共投資に加え、民間設備投資需要においても底堅い推移を見込む

- **精密機械事業**

  中華圏を中心に、AI・データセンタ、半導体関連など最先端分野での高精度加工の需要が継続

  米国・ASEAN・欧州を含む海外市場においても、需要の着実な取り込みを図る

(単位：百万円)

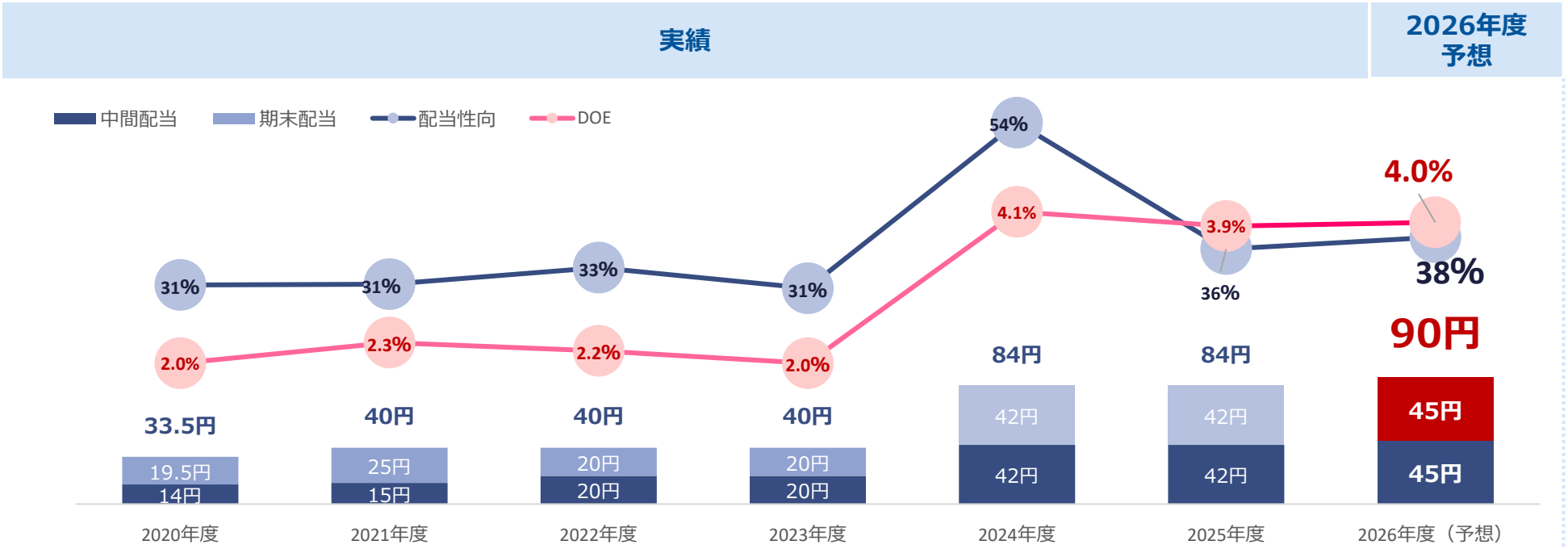
		2026年度 見通し		2025年度 実績		前期比／差	
搬送機械事業	売上高	**13,490**		13,195		+2.2%	+294
	営業利益(率)	**1,430**	**(10.6%)**	1,142	(8.7%)	+25.2%	+287
産業機械事業	売上高	**7,710**		6,993		+10.2%	+716
	営業利益(率)	**1,240**	**(16.1%)**	1,011	(14.5%)	+22.6%	+228
精密機械事業	売上高	**21,000**		18,300		+14.8%	+2,699
	営業利益(率)	**2,270**	**(10.8%)**	2,019	(11.0%)	+12.4%	+250

DOE4.0%を目安とし、2026年度は年間配当90.0円を予定しております。
2026年度中間配当は45円といたします。

2024年度以降の配当政策

安定的な配当を継続して行うことを基本方針とする

DOE*1（連結純資産配当率） 4.0%を目安



*1. 連結純資産配当率 ＝ 1株あたり配当金／期末1株あたり連結純資産

Seibu
Lead Tech Exploration.

ご参考



ベトナム駐在員事務所を開設します

近年、ベトナムをはじめとする東南アジア地域では、製造業の成長や設備投資の拡大が進んでおり、当社にとっても重要な市場の一つとなっています。

このたび開設する駐在員事務所では、現地および周辺国における市場調査や情報収集、顧客および関係先との連携強化を通じて、中長期的な海外事業の円滑な推進と、将来の事業基盤の構築に取り組んでまいります。

ベトナム駐在員事務所の概要

名　称

西部電機株式会社 ベトナム駐在員事務所

- **所在地**

  ベトナム社会主義共和国 ホーチミン市

- **開設日**

  2026年11月25日

- **主な活動内容**

  ベトナム市場における市場調査および情報収集
  顧客・代理店・関係機関との連絡および関係強化
  搬送機械事業、産業機械事業、精密機械事業に関する事業支援活動
  東南アジア地域における市場動向調査
  現地法人設立に向けた調査および準備活動
  法規制・政策動向等に関する情報収集



本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく当社の判断や仮定によるものであり、リスク及び不確実性が含まれております。したがって実際の業績等は、予想数値と異なる結果となる場合があります。

超精密とメカトロメーション®を追求する

Seibu

西部電機株式会社

東証スタンダード･福証（証券コード：６１４４）

＜お問い合せ先＞ 経営企画部

TEL：092-941-1500

FAX：092-941-1511

https://www.seibudenki.co.jp/ir/